

会 議 録

会議の名称	第2回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成27年10月27日（火曜日） 午後1時30分から午後3時50分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 第2会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>議事</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 補助金等評価</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) その他</p>	
審 議 内 容	
<p>(総務課長あいさつ)</p> <p>(委員長あいさつ)</p> <p>(財政状況説明)</p> <p>○委員長：中期財政収支試算概要を見ると26年度の歳入の合計が約200億円。26年度の経常収支比率が91.4%ということは100あるうちの91.4は経常的なお金で取られており、市長が政策的に使えるお金は8.6%しかない。この状況が年を追うごとに悪くなり、いよいよ30年度には赤字になる。歳出の部分で補助費等が17億円あるが今回我々はこの内の7億から8億程度の補助金の使途の妥当性を問うということで、全体の200億の内の極めて限られた部分である。極め</p>	

て財政状況が厳しい中で、この補助金を我々が考えていくということとともに、全体の5%部分を色々と改善しても限界がある。我々は行政改革推進委員会なので全体についても市長に対してご意見を申し上げる必要がある。最終回に財政課長からもう少し説明を求めて、全体的な行財政の状況に対しても我々の意見を述べる必要があるかなと思う。全体を見ないと、枝葉の部分だけでは限界があると前回副委員長からアドバイスがあったので、さっそく取り入れた。それでは補助金評価について始める。

○委員：その前にちょっといいか。先ほど言ったように行革委員会で7億程度のことの確認をしていくというミッションが理解できない。もう一つ市に聞きたい。これは是非を問うものか、それともコスト削減を検討するのか、どちらか。もしコスト削減を検討するなら市が実行部隊に対してそれぞれに10%カットしなさいといったようなことを言っているのか、そうじゃなくて何も言わず担当から出てきたものなのか。もしカット済みならあまり言う所はないのかなと思う。どっちの姿勢でいけばいいか。

○委員長：これは評価項目が廃止、内容見直し、縮小、統合、拡大、継続と色々あるので、必ずしもカットするだけではなくいいものについては拡大するよう我々は言える。

○委員：それは分かった。だがこの行革委員会でやる意味がわからない。

○委員長：それではもう一度行革委員会の設置の趣旨の説明を事務局にお願いしましょう。

○総務課係長：昨年度までこの行政改革推進委員会の他に、補助金評価委員会というのもあり、両方で色々な評価をしていたが、それが行政改革推進委員会の中で補助金の評価もしようということになった。それを受けて今年度からは補助金評価もできるように要綱を改正した。この中で補助金の評価をするが、絶対しなければならな

いとは書いていないので、委員のみなさんのたった 5% のことを検討してもしようがない、もっと大きいことをしたらどうかという今日のような意見があれば反映していく。

○委員長：それともう一つ。当初予算編成に我々の意見が反映されていく。だからこの時期込み入るが、11月中旬までにできると当初予算編成に間に合う。そして、たった 5% とは言ったが経常収支比率で市長の政策に使える範囲が少ないので 5% とはいえ大事である。

○委員：そうするとこの 1 次評価はどういうスタンスで書いているのか。

○総務課長：毎年、補助金については適正かということを担当課でも検討しているし、10% カット等もお願いしている。28年度についても、ゼロベースで考えて本当に必要かということを一から考え直して予算を立てる方針。しかし、政策的に必要な部分もあるので、そういったことも踏まえて評価をしていただきたい。

○委員長：それでは事務局の方から順番に説明をしてもらって意見を聴きながら進めていきたい。ご意見ありましたら遠慮なくどんどん発言してください。

(1 番 杵 築 市 議 会 政 務 活 動 費 補 助 金 説 明)

○副委員長：議員は歳費をもらっているの中で勉強や情報収集をしてもらい、前年度の 1/2 でどうか。

○委員長：これは時代の流れから言って経費節減のため、削減という方向でどうでしょうか。

(縮 小)

(2 番 職 員 福 利 厚 生 費 補 助 金 説 明)

○副委員長：これについても 1/2 でどうか。厳しい情勢が今後想定されているので。

○委員長：現状の 1/2 。みなさんどうか。財政状況が厳しいので切

れるところから切っていないといけない。今回縮小の一番大きな要因はこれから先想定される厳しい財政運営状況だ。これを頭に入れておかなければならない。これも縮小ということによいか。

(縮小)

○委員長：議会もこれも縮小だが数字的な事は何かいれなくてよいか。

○副委員長：前年度の 1/2。

○委員長：前年度の 1/2。議会は。

○副委員長：議会も前年度の 1/2。

○委員長：議会の方も 1/2。これから想定される厳しい財政状況に対応するためということで。

○副委員長：自分たちで身を削らなければ。

(3 番杵築市区長連合会補助金説明)

○委員長：これも支出の内容は、旅費が大半。先進地視察となっている。

○副委員長：これは昨年度までは市の補助金は70万程度。

○総務課長：予算は 200 万つけているが、実績に応じて返還してもらおう。

○副委員長：それなら前年度が70万なら予算も70万でいいのでは。

○総務課長：視察場所によって経費が違ってくる。

○副委員長：議員に視察を自費でやるように、という話をしているわけだから。区長は自分の住んでいる地区を良くしたいということになっている方々だから補助金は期待していないのではないか。

○総務課長：視察経費については若干の補助をいただきたいという思いがあり、こちらも補助を出していた。

○副委員長：だから前年度並みで良いのでは。

○委員長：2年前が97万、去年が70万。だから 200 万も予算をつけなくてもせめて 100 万程度でということか。

○副委員長：そうだ。前年度並みでやったらどうか。

○委員長：その範囲内でできればやってもらいたい。副委員長が言うように議員がそういう状況なので、実績に見合う額に縮小。だから27年度の当初予算額の1/2。実績の1/2じゃなくて当初予算の1/2。少し厳しいが財政状況が赤字になるということでこちらも言わざるを得ない。

(縮小)

(4番自主防災組織活性化事業費補助金説明)

○総務課長：東日本大震災以降も自主防災組織の活動があまりなされていないので活動を促す意味の補助金。それでもなかなか活動ができていない状況であるが、活動するための必要経費を出して、そういう機運を高めることが目的。

○委員長：減額と言うよりは支出内容をみながら推移させるということでしょうか。

○委員：それでいいと思う。人命にかかわる。委員長の言うように実績をみながら。

○委員長：有効に活用してもらえればよい。内容も訓練に係る経費。財政厳しい折ではあるが防災については事業実績を見ながら推移させるということでしょうか。

○副委員長：安心・安全というのは最重要課題であるからいいと思う。

○委員長：ではこれは継続。重要な内容なので。

(継続)

(5番交通安全協会杵築支部補助金説明)

(6番交通安全協会日出支部補助金説明)

○委員：なぜ杵築と日出と二つあるのか。

○総務課係長：山香は日出警察署管内、杵築は杵築警察署管内で交通安全協会も別々。

○委員長：交通安全協会自体も議論があるところだ。杵築支部も事業費のほとんどが人件費。

○副委員長：人件費とは交通安全協会にいる人の人件費か。だったらこの職員の給与を負担しているような感じだ。活動はもちろんしているだろうがちょっと違うのではないかと思う。

○委員長：協会の人杵築にもいるし、日出にもいる。一本化した場合は人員整理ができる。統合を図っていく動きではあるのか。

○総務課長：促してはいるが、なかなか難しい。

○委員長：活動はいいことをやっているが、本来警察や行政でやるべきことを交通安全協会がやっている意味が分かりづらい。統合して合理化を図る。でどうか。

○副委員長：金額も下げる。統合を促す意味で前年度の 1/2 でどうか。

○委員長：財政状況も厳しいので統合を促す意味で前年度の 1/2 。今回他のところにも厳しい意見を申し上げているので。

○委員：補助金だけ統合というのはできないのか。

○委員長：それは無理だろう。補助金だけ統合しても母体が別の団体では。それでは真剣に検討してもらおうという意味で 1/2 とするか。二つを統合するという意味で、1/2 を目途にがんばってもらいたい。ダブリ部分をできるだけなくしていきたい。

(統合)

(7 番杵築市防犯協会連合会補助金説明)

○委員長：防犯パトロール費が一番大きい。

○副委員長：ちゃんとやっているならそれは意味がある。

(継続)

(8 番防災システム整備事業補助金説明)

○委員長：この事業の最終目標は。

○総務課長：26年度事業で一斉に行った。防災ラジオはいらないと

いう人もいるが、地震、津波、災害等の伝達方法として市としては100%を目指している。転入等もあるのでこの補助だけは残しておきたい。70%程設置できており、残りの30%にこれから設置していただけるよう促していく。

○委員：これは大事なことから基本はやるべきだと思うが、業者が市の指定業者になっている。コスト削減という意味では、競争入札して安いところをに頼むわけにはいかないのか。

○総務課長：ケーブルテレビに繋ぐのでケーブルテレビ組合に加入している事業者に依頼しており、単価契約している。

○委員長：個別にラジオだけ買うのであれば安く買えるところはたくさんある。しかし、ケーブルテレビとの絡みがある。杵築では防災放送等はないのか。ラジオのみか。

○総務課長：ラジオと屋外スピーカー。屋外スピーカーは沿岸部を中心に旧小学校単位で設置している。

○委員長：ラジオをやるなら普及率をあげていかなければいけない。

○副委員長：これは大事なことなのでいいと思う。

(継続)

(9番防犯灯維持管理交付金説明)

○委員長：LEDに変えるとやはり明るい。電気代が安くなってよいが設置費が高い。

○副委員長：400円というのはLEDか。

○総務課係長：数年前から防犯灯設置の際はLEDに変えているがそれより以前に設置しているものについても同じ金額だ。

○委員長：LEDだから値段を変えるということはなく全て400円で、超えた分については町内会負担ということか。

○総務課係長：はい。ただ、これについては今後の予算セッションになるが、早期のLED化を検討しているところだ。

○委員長：それではどうするか。金額的にはなかなか難しいか。去年は継続でこういう付帯意見をつけているが。

○副委員長：同じでよい。

(継続)

(10番消防団交付金説明)

(継続)

(11番定住促進補助金説明)

(継続)

(12番過疎バス運行補助金説明)

○委員長：利用者数が資料ではわからない。どの程度利用者がいるか分からないと判断できない。費用対効果を見たい。あまり利用者が少ないのであれば路線を維持することが必要なのか。他にも色々なやり方がある。事業効果の検証。これをやらないと判断できない。

○委員：これは路線バスなのか。コミュニティバスではなく。

○総務課係長：バス会社。コミュニティバスとは違う。

○委員：この補助金を廃止してコミュニティバスに変えると逆に費用がかかるのか。

○総務課係長：費用対効果を検討してコミュニティバスに変更した路線もある。

○委員：今残っているものは費用対効果を確認して、変更しても効果がないものなのか。

○総務課係長：今残っているのは杵築の中だけで完結しない路線が多い。大分から、別府、日出、杵築を通過して空港まで行くという路線も、系統によっては赤字で補助しているところもある。

○委員長：いずれにしても乗降客数に応じて内容見直しということで、利用客数が分からないと判断できない。

○委員：あっさりやめるとした方がいいと思う。そうしないと何回

検討しても同じじゃないか。

○副委員長：やめますと言う時にはその代替案としてコミュニティバスや乗合タクシーのようなことをするという意思表示をした方がいいと思う。

○委員長：では利用客数に応じて廃止、またはコミュニティバス等の導入を検討すること。

○委員：それでいいと思う。そうでないとたぶんずっと続く。

○委員長：これは内容見直しと廃止どちらか。

○総務課係長：今委員のみなさんがおっしゃったようなことを検討する会議、地域公共交通会議というのがある。バス事業者、タクシー事業者、市、警察、県等の関係機関が集まり、公共交通のことを話し合う。その中で運行状況や利用者の状況や補助額を検討している。代替案の検討も毎年行っている。

○委員長：それでは内容見直しで総務課長と同じで利用状況に応じて廃止または代替措置を講じることということによいか。

○副委員長：予算の金額をどうするか。

○委員長：利用状況がわからないから判断できない。利用者数を確認して廃止、またはコミュニティバスによる予算削減を図ること。予算を何割削減と言うのは判断が難しい。

○委員：そのくらいつつこんでいいと思う。必要に応じてということだと、、、

○委員長：その判断をするのにデータが足りない。

○委員：コミュニティバスはどこが運行しているのか。

○総務課係長：市だ。運転やバスも持っていないので、業者に委託している。

○総務課長：運行会社に補助金を出すか、市がやるか。どちらがいいか。便数も市がする場合必要最低限しかしない。

○副委員長：お年寄りの見守りと連携させてはどうか。

○総務課長：乗合タクシーは玄関先まで迎えに行くので見守りもできると思う。

○委員長：いずれにしても利用者数によって廃止、またはコミュニティバス等の代替手段を検討すること。そこに予算削減の割合を入れるかどうか。

○委員：それはわからない。

○委員長：代替手段を検討し、予算の削減に努めること。くらいにするか。これで改善が見られなければ来年は利用者数の資料も出るだろうから来年は数値まで入れる。それでよいか。

（賛成）

（13番空き家改修費補助金説明）

○委員長：市内でも市外でも関係ないのか。

○総務課係長：市外からの転入のみ。そして市が行っている空き家バンクに登録されている物件に限る。

○副委員長：これはいいと思う。

○委員：空き家補修費は受益者負担ということで、自分でやるべきじゃないかと思う。定住促進で補助金を出して空き家改修費でも補助をだすのか。

○委員長：住宅購入の場合は定住促進で補助を出し、賃貸で空き家に入る場合は空き家改修費で補助を出す。

○総務課係長：空き家バンクの改修費も同じ家には1度しか使えない。改修も30万では最低限の改修しかできない。ガラスが割れていたり、雨漏りがする場合、修理しないと住めない。

○委員：それなら逆に空き家バンクに登録していない物件に補助が出ないのは不公平だ。

○副委員長：空き家バンクに登録することによって家の一定水準を市が保証しているということだ。

○委員長：誰でも申請はできる。市が定めた要綱に満たなければ登

録はできない。逆に空き家を持っている人は積極的に登録した方がいい。

○総務課係長：ぜひ登録してほしいがなかなか思うように増えない。

(継続)

(14番子育て世帯応援家賃補助金説明)

○委員長：これは利用度が高いようだ。転入者が多いと税金も入ってくる。

○総務課長：リーマンショックでアパートの空室が多く、その解消も期待している。

(継続)

(15番新婚世帯応援家賃補助金説明)

(継続)

(16番同窓会開催補助金説明)

○副委員長：あまり意味がないように思う。

○委員：いらなと思う。

○委員長：廃止でよいか。理由は。

○副委員長：財政状況が厳しいので。

○委員長：将来の財政状況の厳しさから、事業内容を検討して廃止でよいか。

(廃止)

(17番杵築市民提案型まちづくり事業補助金説明)

○委員長：事業効果を確認する資料がないので判断が難しい。

○副委員長：この事業に1千万円も予算をつけるのはナンセンスだ。

○委員長：事業効果を検証の上、事業規模を縮小、予算は。

○副委員長：前年度の実績並みでよいのでは。

○委員長：26年度は330万。どういう効果があったのかがわからな

いと検証できない。それが出ていないので、内容見直しにするか。事業効果を確認することと、前年度実績並みの予算。もし効果が大いに上がっているということであればそのデータをだしてもらいたい。ということでよいか。

(内容見直し)

(18番まち並み環境整備事業補助金(ソフト)説明)

○委員長：これは国庫補助事業ですね。

○副委員長：杵築はまちづくりというのを一番大事にするべきだと思う。

○委員長：それにこれは国庫補助事業だから、そういうのを大いに活用するとよい。まちづくりを推進して、観光客に来てもらわなくてはいけない。

(継続)

(19番まち並み環境整備事業補助金(ハード)説明)

(継続)

(20番地区住民自治協議会交付金説明)

○委員長：多様な活動をやっていると思うが、この資料からはどんなことをしているか読み取れない。

○副委員長：金額的には結構大きい。

○総務課長：資料を用意しますので次回にまわしていただいても。

○委員長：そうしましょう。

○総務課長：市としては地区の協議会を中心とした自治を含めた活動をお願いしていきたいと思っている。その基盤づくりをまずしたい。

○委員：地区の自立のためには必要だと思う。

○委員長：継続にしておいて、事業効果を十分検証するのでしょうか。

(継続)

(21番スズメバチ等駆除費補助金説明)

(継続)

(22番ごみ集積場設置補助金説明)

(継続)

(23番生ごみ処理容器購入補助金説明)

(継続)

(24番食用廃油回収事業補助金説明)

(継続)

(25番合併処理浄化槽設置補助金説明)

(継続)

○委員長：ただし、導入率をあげるために制度の周知を図るべきだ。

(26番水道施設整備事業補助金説明)

(継続)

(27番きつきお城まつり補助金説明)

○副委員長：民間主導で、市の関与はできるだけ少なく。

○委員長：補助額は 1/2 で民間主導型に移行。

○委員：補助額を削減して祭りが落ち込むならやっではないかと思う。

○委員長：お祭りの事業を全て見てから判断しよう。

(保留)

(28番きつき夏祭り補助金説明)

(廃止)

(29番城下町杵築散策とひいなめぐり補助金説明)

(保留)

(30番杵築ど〜んと商品券事業補助金説明)

(保留)

○委員長：所属長の縮小という意見がどの程度のことを言っている

のか確認してから判断。

(31番杵築市観光協会補助金説明)

(保留)

(32番杵築市商工会補助金説明)

(保留)

(33番コールセンター立地促進補助金説明)

(継続)

(34番企業立地促進補助金説明)

(継続)

(35番シルバー人材センター補助金説明)

(継続)

(36番花火大会交付金説明)

○副委員長：他地域でもやっている花火大会をあえて杵築でもやる必要はないのでは。その分の財源を他に充てたほうがよい。

○委員：規模を縮小するならやらない方がよい。花火大会をやめるのは本当に最後まで待つべきだ。

○委員長：委員に両論あり。事業効果を検証して、他事業にその財源を振替えることも検討する。

(内容見直し)